

## ◇サルコイドーシス

全身のいろいろな臓器(頻度が高いのは両側肺門リンパ節、肺、眼、皮膚、唾液腺、心臓、神経、筋肉など)に、「非乾酪性類上皮細胞肉芽腫」と呼ばれる病変が生じる原因不明の病気です。サルコイドーシスの本体は、感染症ではなく個体のもつ異常な免疫反応と推定されており、多くの方が全身治療を要することなく自然軽快する疾患です。肉芽腫がどこに生じるかにより症状は患者さまごとに異なります。眼ではぶどう膜炎が特徴で霧視や飛蚊症から発見されることも珍しくありません。眼病変に対しては点眼薬のみで管理できることがほとんどですが、中には点眼薬のみでは効かないケースもありますので、そのような場合には専門的知識のある眼科医師による診断治療が必要です。両側肺門リンパ節・肺病変に対しては基本的に無治療・経過観察となりますが、呼吸器症状が強い場合や経時的に進行するような場合にはステロイド剤などの全身治療が必要となります。